

まちづくりに関することの振り返りと 小山市立生涯学習センターへの期待

抜粋版

2022. 5. 12

宇都宮共和大学シティライフ学部／武蔵野大学環境研究所

陣内 雄次

1. まちづくりに関することの振り返り

まちづくりの関連事項

バブル崩壊

リーマンショック(2008)

東日本大震災(2011)

SDGs(2015)

年代	1950	1960	1990	2010
変遷	戦後復興～高度経済成長	人口増、経済成長の受け皿となる都市づくり	★1988 全国総合開発計画＝中央集権・トップ	「新たな公共」 NPO・ボランティア スマホ普及率 71%(2016年) 1998年 NPO法

1949年
社会教育法

1990年
生涯教育振
興法

1994年
小山市立生涯
学習センター

自治会など地縁型コミュニティの衰退

パンデミック(2020)

2014年5月消滅可能性都市公表 → 地方創生法

人口移動：地方から大都市へ

コロナ禍により
加速？

大都市から地方へ
地方から地方へ
地元定着

2. 小山市立生涯学習センターへの期待

まちづくりの関連事項

バブル崩壊

リーマンショック(2008)

東日本大震災(2011)

SDGs(2015)

年代	1950	1960	1990	2010
変遷	戦後復興～高度経済成長	人口増、経済成長の受け皿となる都市づくり	★1988 全国総合開発計画＝中央集権・トップダウン 1990年 生涯教育振興法	「新たな公共」 NPO・ボランティア スマホ普及率 71%(2016年) 1998年 NPO法 1994年 小山市立生涯学習センター

1949年
社会教育法

小山市の「持続可能性」

そのために、市民参画（主体）、協働のまちづくり

小山市立生涯学習センターへの期待

り加速？

地元定着

「まちづくり」

“利害関係者が合意を図りつつボトムアップで決定し、地域の多様な問題を包括的にとらえて解決する仕組みや活動”
(『生活の視点でとく都市計画』p.116)

「学び」の重要性

学び → 気づき → 行動
→ 自己実現・自己有用感など

「まちのオーナーシップ」「他人事から自分事へ」

ポートフォリオ学習の可能性と課題
—地域プロジェクト型学習を事例に—

陣内 雄次

宇都宮大学教育学部教育実践紀要 第5号 別刷

2018年8月3日

■学生たちの変容

■ベースとしての学び

■学び～実践の往還
→PBLの重要性

令和2年度文部科学白書第3章より：

「生涯学習」とは、人々が生涯に行うあらゆる学習、すなわち、学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場や機会において行う学習を意味する。

教育基本法第3条：

生涯学習の理念として「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない」と規定。

まちづくりの関連事項

バブル経済崩壊

リーマンショック(2008)

東日本大震災(2011)

SDGs(2015)

年代 1950 1960 1990

戦後復興～高度経済成長

★198

「新たな公共」

NPO・ボラスマホ普及率

まちづくりへの入り口 (HOOK) の一つとしての
小山市立生涯学習センター

1949年
社会教育法

<例> 宇都宮市中央生涯学習センターの依頼で
「景観まちづくり」に関する連続講座を担当

小山市の「持続可能性」

そのために、市民参画(主体)、協働のまちづくり

小山市立生涯学習センターへの期待

り加速?

地元定着

3. おわりに

持続可能な小山市のために
目指したいまちづくりの姿

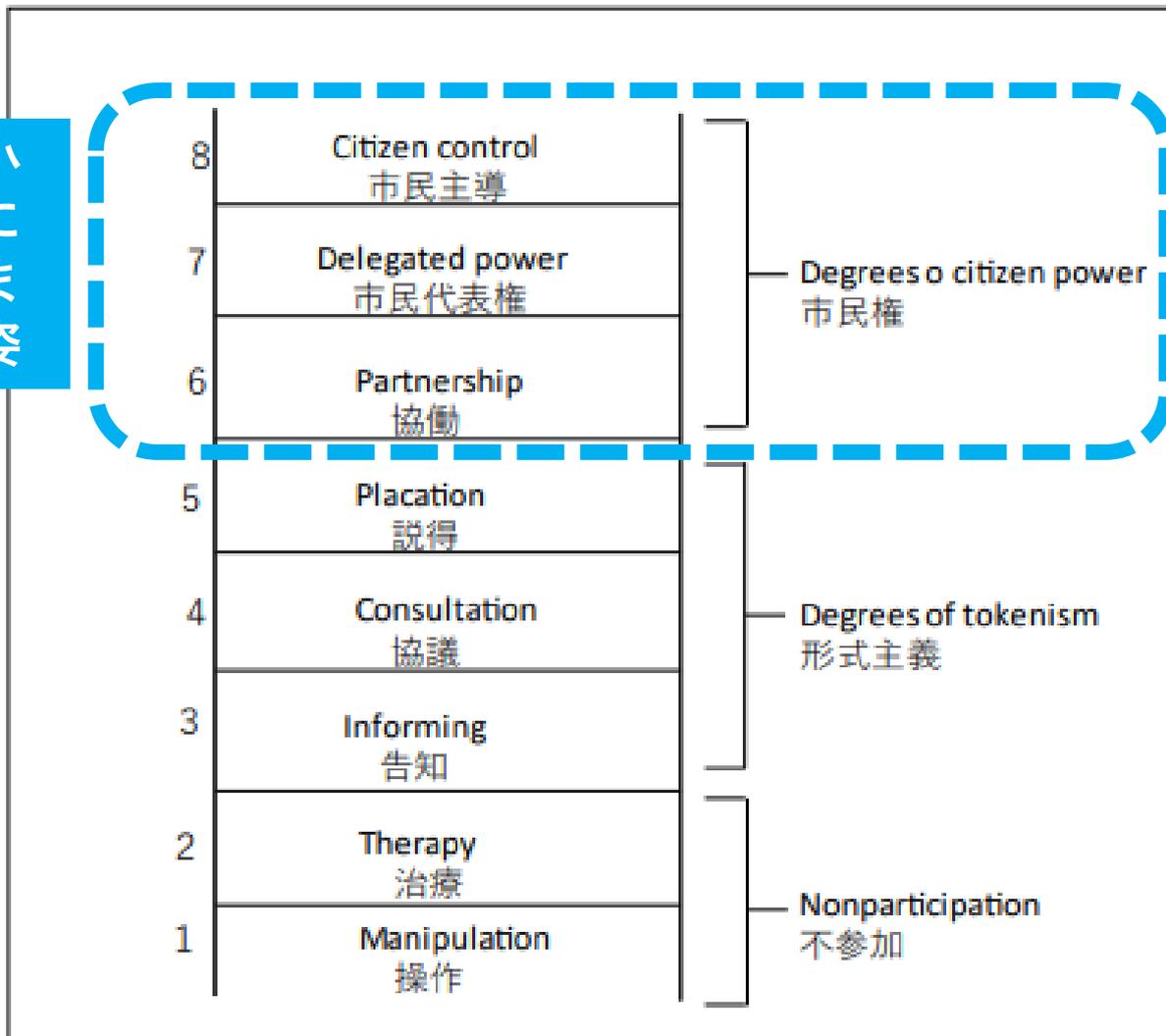


図3 住民参加のはしご

(Sherry R. Arnstein(1969)“A Ladder of Citizen Participation”, *Journal of the American Institute of Planners*, 35:4, 216-224 に加筆)

SDGsと地方自治体計画の自分事化に関する一考察

A Study on Facilitating a Sense of Ownership for SDGs and Local Government Planning

陣内 雄次*

Yuji JINNOUCHI

Mingleを誘発する 小山市立生涯学習センター

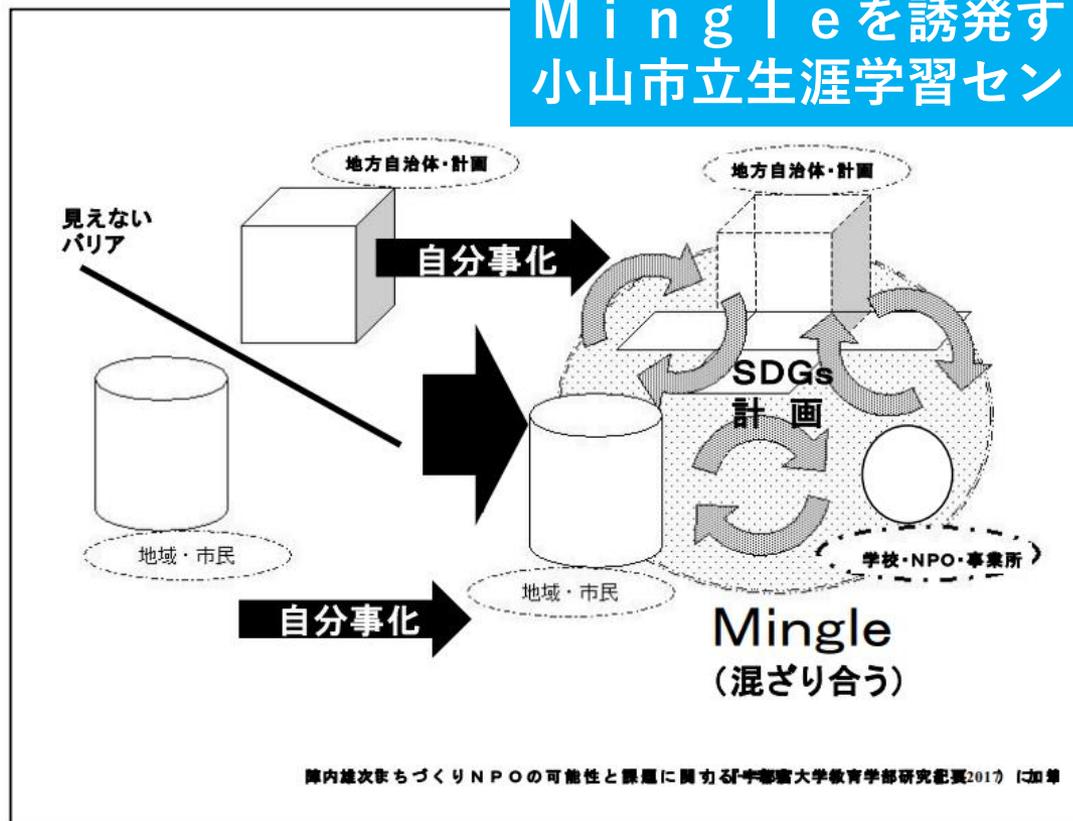


図4 革新的アプローチ＝「SDGsと地方自治体計画の自分事化」とMINGLEの構想